

支部の活動

定例の活動は、総会(年1回)、例会(年2回程度)、ニュースレターの発行(年3回程度)です。

- 総会では、前年度の活動を振り返るとともに、新年度の活動を審議する支部運営の大事な機会です。
- 年2回程度開催される支部例会では、音楽史料を取り巻く国際的な音楽研究動向の紹介、研究者や図書館員による発表・講演に加え、海外から専門家をお招きし、活発な情報交換を行っています。
- ニュースレターでは、例会報告、支部会員の動向とともに、国際大会の報告がなされます。常時4~5名の参加があり、会員個人の活動とともに国際的なネットワークの安定につながっています。
- 会員によるRプロジェクトに対応したリエゾンによって、円滑な情報提供に努めています。

また、初めて国際大会に参加される場合には、参加補助制度があります。

Webを通じて幅広い情報を得られるようになった現在においても、効率的な情報収集と人的ネットワーク構築には、支部活動が重要な役割を果たしています。

入会のご案内

会計年度は1月1日から12月31日です。

会費 個人会員 6,000円
団体会員 14,000円

会員は、機関誌Fontes Artis Musicaeの購読、国際本部大会参加、支部活動を担うことができます。

国際本部では、主題別、館種別、時宜に応じたテーマ別に委員会が設置されており、正会員であれば参加可能です。詳しくは、支部HP「部会と委員会」ページおよび、本部Webページをご参照下さい。

<https://www.iaml.info/iaml-structure-and-activities>

ご寄付のお願い

当支部の活動を応援してください。ご寄付くださった方には、支部ニュースレターの最新号を進呈し、当該年度の例会に無料でご招待します。

お問い合わせは、電子メールにてご連絡下さい。

iamljp@j07.itscom.net



国際音楽資料情報協会 IAML 日本支部

Facebook
<https://www.facebook.com/IAMLJapan/>
ウェブサイト
<https://www.iaml.jp/>

支部沿革

【前史】

1949年 フィレンツェでフランスの上級司書V.フェドロフ氏がIAML設立を提唱し、準備大会を開催。以後大会、年次会議を毎年開催今日に至る

1967年 日本から初めてNHK音楽資料部 上法茂氏がザルツブルク年次会議に参加

1972年 ボローニャ年次会議に村井範子氏、岸本宏子氏参加。日本の会員が徐々に増える

1978年 H.ヘックマン氏の要請を受け、村井範子氏、岸本宏子氏、上法茂氏らが日本支部設立準備

【支部設立】

1979年 日本支部設立大会開催

支部長 遠山一行
事務局長 村井範子
会計 渡部恵一郎

1988年 東京大会開催

1994年 再興し、以降継続的に活動
2019年に支部40周年を迎えました

2022年現在, 個人会員39名, 団体会員18機関

IAML国際音楽資料情報協会とは

IAMLは、1951年、UNESCOの支援により、国際音楽学会(IMS)と連携して音楽資料の取り扱いに関する情報交換と所在目録作成事業などを行う国際機関として設立されました。1954年からは機関紙Fontes Artis Musicaeを発行し、IMS等と連携して、音楽情報に必須の国際的プロジェクトであるRプロジェクトを企画・運営しています。

- RISM (Repertoire International des Sources Musicales) 国際音楽資料目録
世界各国の図書館が所蔵する音楽関係の手稿、初期印刷版の所蔵情報
- RILM (Repertoire International de Literature Musicale) 国際音楽文献目録
世界各国で発表される音楽関係の学術文献に関するデータベース。我が国ではIAML日本支部、音楽図書館協議会、日本音楽学会、東洋音楽学会、日本音楽教育学会、日本ポピュラー音楽学会が協力してRILM国内委員会として機能
- RIDIM (Repertoire International d'Iconographie Musicale) 国際音楽図像目録
世界各国の図書館、美術館、博物館などが所蔵する楽器、絵画、彫刻など音楽や音楽シーンを描いた図像資料の目録
- RIPM (Repertoire International de la Presse Musicale) 国際音楽記事総覧及び記事索引
19世紀から20世紀初頭に刊行された音楽関係の逐次刊行物の内容総覧及び索引

このように、私たちの活動に不可欠な音楽史資料に関わる書誌作成を支援しています。このことはまた、全世界の音楽ライブラリアンの活動を支えることにもつながっています。

私たちにとっての日本支部とは

IAML日本支部は、IAMLが担う音楽史資料を取り巻く国際的な活動の窓口です。

音楽研究者の方々には・・・研究に不可欠な史資料に関わるの情報や研究活動の内容を効率的かつ体系的に入手でき、また自らの研究を国際的に発表する足がかりとなります。

音楽図書館員の方々には・・・国際的な音楽情報および組織化等のサービスに関する最新の動向をキャッチできるクリアリングハウスの役割を担います。

出版流通関係の方々には・・・新たな音楽史料の発見や、研究成果の展開、書誌環境の動向の把握や、マーケティング展開の可能性を持っています。

若手の研究者や音楽サービスに関心をお持ちの方々には・・・現在進行中そしてこれからの音楽情報サービスを知る身近なネットワークです。